

平成28年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表
その1

議員名	件名	要旨
1 原 節雄	中学校統合について尋ねる	<p>①通学距離6km以内は、歩行通学と委員会で説明があったが、昭和の時と、今日とでは交通事情が違う。交通事故を防止する為、何か方策は検討されたか。</p> <p>②部活等で帰宅が遅くなる児童の安全と、父母の安心できる方法等の検討はしたか尋ねる。</p>
	川崎町の焼却灰最終処分場について尋ねる	<p>川崎町が、東部衛生組合に加入した時は、新東部衛生組合焼却場の焼却残灰は、川崎町が東田原に建設する最終処分場を、東部衛生組合が使用すると決定事項であったが、容積が少なく、3年6ヶ月分しかなく、また、地下に不純物の埋設物があるとの予測と、ボタ山が一部敷地内に接合しているため、関係市町村長の協議で川崎町の新最終処分場は適さないとの決定をされ、反論もせず議会に報告があった。用地取得及び環境アセスで、約2億円の費用がかかっているが、この償還予定を求める。</p>
2 櫻井 英夫	ごみ最終処分場建設事業問題について (町長)	<p>9月30日の全員協議会で報告説明のあったごみ最終処分場建設事業問題について</p> <p>①田川東部衛生組合から川崎町東田原に整備予定のごみ最終処分場を活用したいと要請を受け、その後、衛生組合が事前調査したところ、当該地にボタ山が存在、産業廃棄物も捨てられているので不適となったとのことだが、町単独で整備した場合は、県から許可が受けられ整備可能だったのか。コンサルタントの調査結果はボタ山、産廃の存在についてどのような報告がなされているか。産業廃棄物は適法に処分されたものなのか。違法の場合の処理は。</p> <p>②整備予定地の適否について、東部衛生組合から指摘を受けるまで問題を認識しなかったのはどうしてか。東部衛生組合は、どのような事前調査をして容易に処分場不適の問題点を把握できたのか。</p> <p>③全協では、損害賠償の訴訟も視野に入れ経緯を調査すると、発言があったが変更はないか。調査結果を書面で議会に報告を求む。</p>
	株式会社De・愛の経営状況について (町長)	<p>町100%出資第3セクター株式会社De・愛の経営状況については、株主総会を開かないため町民は経営状況を知る事もない。株式会社は株主に対し経営状況を明朗にすべきで、議会質問で小出しに説明するものではない。そもそも株主総会に替えて住民代表たる議会に経営状況を報告する義務があると思うが、どんな規約になっているか。この際、前期6ヶ月、中間決算の報告を求める。</p>
	教育事務の管理執行点検評価について (教育長)	<p>①25、26年度の報告書が議会に未提出だが、その理由は。</p> <p>②27年度報告書で指摘されている各ボランティアの高齢化と減少への対応、生涯学習推進対策について、どの様に考えているか。</p> <p>③障がいを持つ学童・生徒への支援に関する記述がない。視点が注がれてないのではないか。福祉と教育の連携政策推進を求む。</p>

平成28年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表
その2

議員名	件名	要旨
3 寺田 響	子育てについて①	川崎町には他町村にはない自然を活かした「遊んで学ぶ」場所が必要だと思いますが、町長のお考えを伺います。
	子育てについて②	子育ての充実を図るため、保健センターを拠点に子育てに関する様々な相談、指導、支援を行うことが望ましいと思います。しかし、現状は保健センターと子育て支援センターなど関連施設は別々の場所にあります。利用の観点から見ると保健センター内に子育て支援センターがあることが合理的であると考えますが、町長のお考えを伺います。
4 樋口 秀隆	町境付近から吉原町、本町に懸念される水害の予防を早期に	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今はゲリラ的集中豪雨の発生頻度が高くなっている。これと当該現地の状況事情などが重なり、近い将来において水害発生の可能性は高くなっていると考えられる。 ・現地の事情状況などは、①ゲリラ的集中豪雨の発生頻度が高くなっている。②櫛毛川最上流の治水用水路が、堆積物などで水流が阻害されている。③その流入上部がソーラー発電の開発などにより、自然貯水能力が損なわれている。④現在の水路は蛇行していて、スムーズな水はけが期待できない。⑤今後の大峰地区の住宅改良も内容如何では懸念材料の一つになり得る。 <p>[具体的質問事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年の雨季にむけて、一日も早い対応を考える必要があるのではないかと。前記①～⑤までの内容について考えと対応策を問う。
	3 中学校統合における建設計画に住民ファーストの観点で関係者の納得のいく理解が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や関係者の多くが、統合先を川崎中学校用地にしなければならない説明については一定の理解を示しながらも、その他の選択肢が否定されるにいたった理由、内容について、納得のいく説明が欲しいと考えている。 ・議会の審議の中では、別の選択肢として「隣保館付近の農地」が上がっているが、当初説明を受けた予算上の7億円差は「川中案」で追加予定の駐車場用地や進入道路の予算を考えると、殆ど差がなくなっていると考えられる。 ・4年開校が遅れることも、行政上の努力で縮めることも出来ると考えられるが、仮に数年遅れてもこれからの50年のこの町の教育行政を考えると、待つ時間としては決して長いとは思えない。 <p>[具体的質問事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長、教育長の学校統廃合への基本的考え。 ・住民や現場の教職員は、町の中央付近での希望が圧倒的に多いが、行政側の説明とは大きな隔たりがあると考えている、考えを問う。

平成28年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表
その3

議員名	件名	要旨
5 繁永 英樹	認可地縁団体について	7行政区で設立され、平成27年度から課税対象になりましたが、収納の状況をお尋ねします。
	町有財産について	不動産以外の町有財産は、どこにどのくらいあるのか伺いたい。（現状を含めて）
6 千葉 加代子	高齢者対策について	①敬老会の記念品配布方法の検討は。 ②介護保険制度改正による介護予防・日常生活支援事業への移行の進捗状況について。 ③糖尿病は色々な病気の要因になりますが、指導を含め、どのような予防対策を考えておられますか。
	幼児の健診・療育について	①3歳児健診に視力検査の取り入れは可能ですか。 ②言語障害等療育の必要な子どもへの対応はされていますか。 ③病後児保育の実施は、検討されていますか。
	耕作放棄地の固定資産税の減免等について	①本町の基幹産業は農業ですが、後継者不足や高齢化により、耕作放棄地が増えています。年金収入のみの高齢者にとって、固定資産税の納付が大きな負担になっています。耕作を放棄した農地について、固定資産税の減免に取り組んでいただきたいが、いかがですか。 ②耕作放棄地を農業に関心を持ち意欲のある方たちに貸与して、本町に移住するプロジェクトを実施できませんか。
7 手嶋 真由美	「ベジライズダイニング穀×極」周辺の環境整備について	①今後の具体的な整備の計画はありますか。 ②穀×極が出来た時に、対岸に渡れるように橋をかける企画があったと聞きましたが。 ③河川を利用して楽しめる企画を考えてみては。
	「子ども議会」での提案や要望について	①児童からの提案や要望に、どのように対処していくのでしょうか。 ②児童から指摘のあった通学路の点検は。
8 松岡 久代	東田原最終処分場の経緯について	東田原の役員と役場職員とで、佐賀の脊振山まで最終処分場の環境問題について視察に行った経緯があります。突然に大任町に変更になった理由を東田原の役員、住民には説明がないままになっていますので質問させていただきました。
	川崎町図書館、学校図書の司書教諭の配置について	①本を読むことは、大人、子どもにとって大切なことだと思います。活字離れが進むなか、図書の充実と司書教諭の配置について考えをお伺いします。 ②パピルスホールの指定管理の話しをちらほら耳にしますが、方向性をお聞かせください。

平成28年度第5回川崎町議会（12月定例会議）一般質問通告一覧表
その4

議員名	件名	要旨
9 谷口 武雄	議会に文化芸術を	現在、東京都議会をはじめ、少数ではありますが、県議会、市議会等で、住民に議会を身近に感じてもらおうとの趣旨で、年4回開催される議会前に少し時間をとって議場コンサート、(ボランティア)による(歌、音楽演奏)等を開催しています。町村では全国初の先陣をきって実施してはどうですか。
	認知症の高齢者を見守ろう	①川崎町の高齢者数及び認知症患者の実態を把握していますか。高齢者の何%が認知症でしょうか。 ②認知症見守り講座(他県では小学5年生)認知症サポーター養成講座を、全市立小学校48校で実施しているところもあります。川崎町も取り入れてはどうですか。